

令和2年度 関市消防団年間行事予定表

R2.12.18現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	【中止】辞令交付式	操法自衛期間										火災予防運動
2												
3												
4												
5		【延期】 防災フェア										
6	【書面会議】 分団長会議	操法大会準備 【中止】	操法大会準備 【中止】	【中止】 県大会抽選会			分団長会議					
7								定例表彰				
8								火災予防運動				
9	【延期】 新旧役員懇親会						【中止】			出初式準備		分団長会議
10							【中止】					
11	【延期】 新入団員訓練	※操法個別指導①					刃物まくり			出初式		
12												
13							安全運転講習					
14												
15												
16	【中止】 らっぱ隊会議	※操法個別指導②										
17		※操法個別指導③										
18	【延期】 指導員科	※操法個別指導④										
19		【書面】分団長会議 【中止】抽選会										
20		※操法個別指導⑤										
21		※らっぱ隊練習										
22		※操法個別指導⑥										
23												
24												
25												
26												
27		※個別指導予備日										
28		※個別指導予備日 らっぱ隊練習										
29	【書面】自衛期間											
30												
31		【中止】 操法演習日										

4/1辞令交付式

(日時未定行事)

※操法短期入校
※中濃ブロック
合同訓練(操法)
※県大会開放日

※防災フェア
※上級救命講習

※上記の日程はコロナウイルス感染症等の拡大状況により変更される可能性があります。

※の付いている行事または【中止】が付いている行事は中止した行事

新型コロナウイルス感染症対策
関市消防団リスクレベルについて

12月18日 現在

<リスクレベルの判断とその対策>

リスクレベル	判断基準	対策例
レベル4 全面自粛	緊急事態宣言・非常事態宣言級 市内小中学校の休校など	レベル3対策に加え 点検等の自粛
レベル3 警報	市内でのクラスター発生宣言級 市内居住者の新規感染が複数発生 (1週間以内に3名以上が感染)	レベル2対策に加え 点検等は2名のみで実施
レベル2 警報	市内居住者の新規感染が発生 (発生後から1週間以内)	レベル1対策に加え 訓練・会議の自粛
レベル1 注意	市内居住者の新規感染が発生 (レベル2に該当せず、発生後2週間以内)	レベル0対策に加え 団員同士での会食等の自粛 (詰所・飲食店問わず)
レベル0 平常	市内居住者の感染が確認されていない (過去2週間以上)	新しい生活様式の実施

※「自粛」とは、どうしても実施する必要があるものを除き、訓練・点検等を取り行わないことをいう。

※会議のうち、オンライン会議は自粛の対象外。(オンライン会議は行ってよい)

※点検等には広報活動を含む。

<リスクレベルに応じた対策一覧表>

リスクレベル	対策例	訓練	点検等	会議
レベル4 全面自粛	レベル3対策に加え 点検等の自粛	×	×	×
レベル3 警報	レベル2対策に加え 点検等は2名のみで実施	×	△ (2名のみ)	×
レベル2 警報	レベル1対策に加え 訓練・会議の自粛	×	○	×
レベル1 注意	レベル0対策に加え 団員同士での会食等の自粛 (詰所・飲食店問わず)	○	○	○
レベル0 平常	新しい生活様式の実施	○	○	○

令和2年度年末夜警実施要綱

1 目的

消防団の夜警は、火災等の災害事故を防止し、また、事故等を発見した場合は、これを最小限に抑制することを目的とする。

2 期間

年末夜警 令和2年12月28日(月)から30日(水)までの3日間

※激励巡視は新型コロナウイルス感染症対策防止のため中止する

3 夜警実施方法

- (1) 夜警は、分団ごとに実施する。(年末夜警版：関市消防団リスクレベルを参考する)
- (2) 警戒時間は、原則、午後9時から午後11時までとする。(21時から23時まで)
- (3) 巡回中は、分団長等との連絡体制を確立し、事故を発見した時、または事故が発生したときは直ちにその措置を行うと同時に、速やかに分団長等に連絡をすること。
- (4) 夜警要員及び順路・回数などの事項は、分団の実情に応じて分団長が決定する。
ただし、巡回数は各分団3回程度を目安とすること。

4 夜警サービス

- (1) 服装は、活動服・法被・アポロキャップ・コンバットシューズを着用すること。
ただし、巡回中又は消防車両に乗車するときはヘルメットを着用するものとする。
- (2) 夜警中は、絶対に飲酒しないこと。また消防車両内での喫煙は厳禁とする。
- (3) 夜警日誌は責任者が記入し、人員を交替する場合は交替者に申し送りをする事。
夜警日誌は、巡視者等の求めに応じて閲覧できるよう準備しておくこと。

5 その他

- (1) 団員は規律厳正で、きびきびとした行動をとるものとする。
- (2) 激励巡視中止などの地元自治会への連絡は各分団から行うこと。
- (3) 夜警日誌は、消防出初式の受付時に分団ごとに提出すること。
- (4) 分団長は、安全管理を徹底させ、団員の体調管理に配慮すること。

6 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) マスクを必ず着用し、必要な時以外は必ず着用すること。
- (2) 詰所内での会食は行わないこと。(お茶・コーヒー類や菓子類を除く)
- (3) 待機中・夜警巡回中は必ず換気を行い、相互の距離を保ち、密集しないこと。
- (4) 分団内でも市内の新型コロナウイルス感染状況等をよく把握・周知し、場合によっては夜警の規模を縮小・内容変更することも視野に入れること。
- (5) 自宅から各車庫等へ参集する際は必ず検温を行い、体調不良が認められる場合は分団長へ報告して参集は絶対にしないこと。

お酒は絶対に飲まないでください！！

新型コロナウイルス感染症対策
 関市消防団リスクレベルについて（年末夜警版） 対策例

＜リスクレベルの判断とその対策例＞

リスクレベル	判断基準	対策例
レベル4 全面自粛	緊急事態宣言・非常事態宣言級 市内小中学校の休校など	拠点のみで活動 当番団員4名は活動服で自宅待機 巡回時のみ参集・拠点待機
レベル3 警報	市内でのクラスター発生宣言級 市内居住者の新規感染が複数発生 (1週間以内に3名以上が感染)	拠点のみで活動 2名のみで常駐 巡回時2名参集(活動服で自宅待機)
レベル2 警報	市内居住者の新規感染が発生 (発生後から1週間以内)	拠点のみで活動 4名で待機・巡回
レベル1 注意	市内居住者の新規感染が発生 (レベル2に該当せず、発生後2週間以内)	各車庫・拠点で活動 各車庫2名・拠点4名は常駐 巡回時各2名参集(活動服で自宅待機)
レベル0 平常	市内居住者の感染が確認されていない (過去2週間以上)	各車庫・拠点で活動 4名で待機・巡回

※巡回は車両内の密を避けるため、軽車両の場合2名、積載車・ポンプ車の場合3名で巡回する。

＜リスクレベルに応じた対策一覧表＞

リスクレベル	対策例	各車庫	拠点	自宅待機
レベル4 全面自粛	拠点のみ 当番団員は活動服で自宅待機 巡回時のみ参集	×	×	(拠点) 4名 (活動服着用)
レベル3 警報	拠点のみ 2名は常駐 巡回時2名参集(活動服で自宅待機)	×	2名待機	(拠点) 2名 (活動服着用)
レベル2 警報	拠点のみ 4名で待機・巡回	×	4名待機	—
レベル1 注意	各車庫・拠点 各車庫2名は常駐 巡回時2名参集(活動服で自宅待機)	2名待機	4名待機	(車庫) 各2名 (活動服着用)
レベル0 平常	各車庫・拠点 4名で待機・巡回	4名待機	4名待機	—

※なお、上記は一例であり各分団の実情により、コロナ対策に十分留意し増員することができる。

令和3年関市消防出初式次第

1 日時

令和3年1月11日(月・祝) 午前10時00分から11時00分(予定) ※例年は12時解散予定
※中止等は関市消防団リスクレベルをもとに判断する

2 場所

式典・放水会場 関市稲口 稲口橋下流津保川河川敷 ※代表での表彰受領を行う
※雨天等中止

3 主催

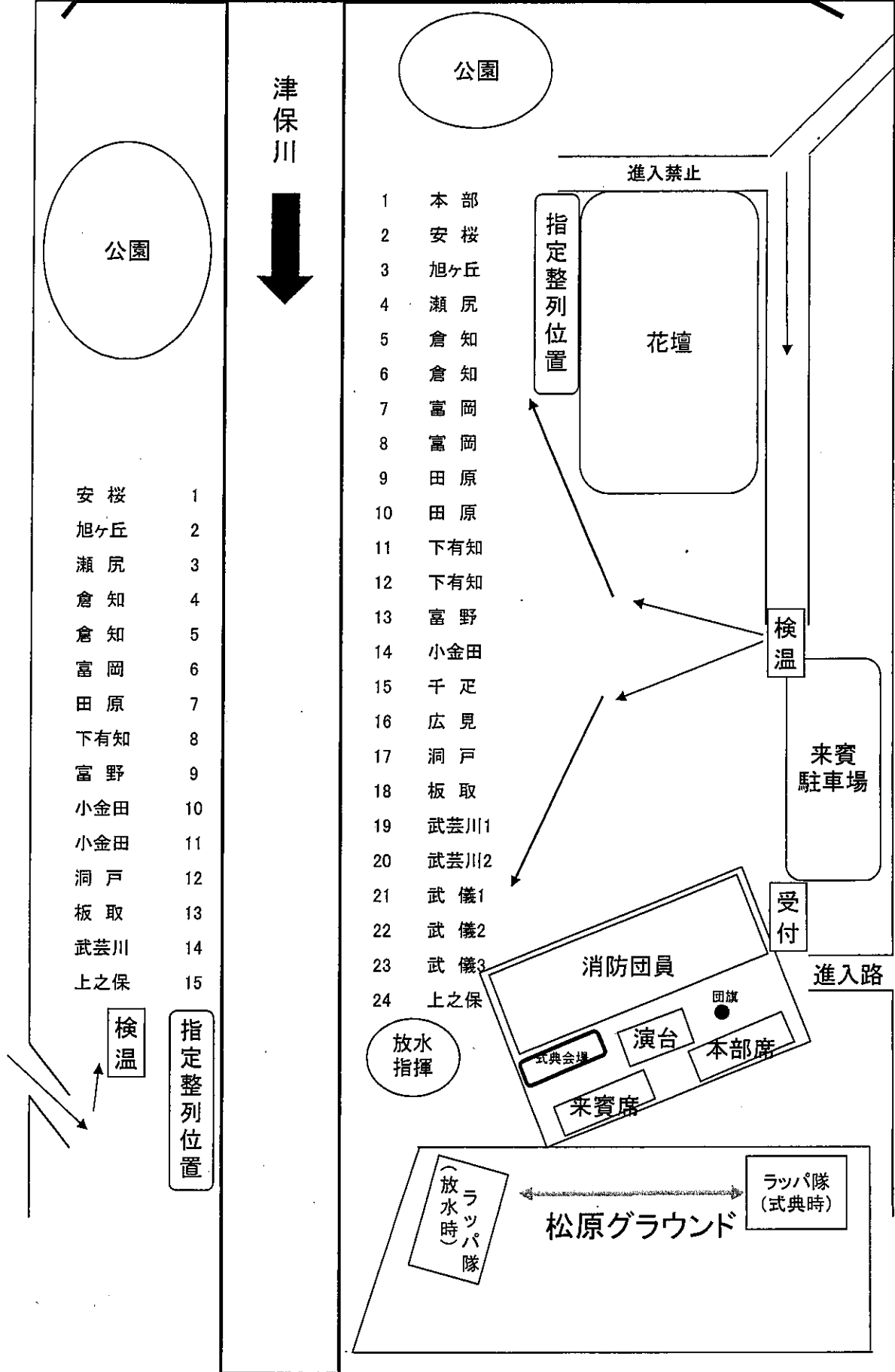
関市

4 式次第

- 1 開会のことば ※らっば隊の吹奏
- 2 団旗に注目 ※らっば隊の吹奏
- 3 出場人員報告(ナレーション)
- 4 市長式辞 ※らっば隊の吹奏
- 5 団長訓示 ※らっば隊の吹奏
- 6 表彰(代表者1名での代表受領) ※音楽隊の吹奏(録音)
岐阜県知事表彰
関市長表彰
関市長感謝状
中濃消防組合消防長表彰
中濃地区幼年少年女性防火委員会表彰
岐阜県消防協会長表彰
中濃ブロック消防協会長表彰
関市消防団長表彰
関市消防協会長表彰
関市消防団長感謝状
退職団員報償
- 7 藍綬褒章披露
- 8 祝辞 らっば隊の吹奏
- 9 来賓紹介
- 10 祝電披露
- 11 放水演習 ※らっば隊の吹奏
- 12 演習終了報告
- 13 閉会式隊形整列 ※らっば隊の吹奏
- 14 総括 ※らっば隊の吹奏
- 15 閉会のことば
解散

式典・放水隊形

稲口橋



公園

津保川

公園

進入禁止

指定整列位置

花壇

- 1 本部
- 2 安桜
- 3 旭ヶ丘
- 4 瀬尻
- 5 倉知
- 6 倉知
- 7 富岡
- 8 富岡
- 9 田原
- 10 田原
- 11 下有知
- 12 下有知
- 13 富野
- 14 小金田
- 15 千疋
- 16 広見
- 17 洞戸
- 18 板取
- 19 武芸川1
- 20 武芸川2
- 21 武儀1
- 22 武儀2
- 23 武儀3
- 24 上之保

検温

来賓
駐車場

受付

進入路

消防団員

演台

本部席

来賓席

放水
指揮

松原グラウンド

ラッパ隊
(式典時)

(放水時)
ラッパ隊

- 安桜 1
- 旭ヶ丘 2
- 瀬尻 3
- 倉知 4
- 倉知 5
- 富岡 6
- 田原 7
- 下有知 8
- 富野 9
- 小金田 10
- 小金田 11
- 洞戸 12
- 板取 13
- 武芸川 14
- 上之保 15

検温

指定整列位置

団員数の推移

組織区分	H25(計画策定前)の団員数	組織区分	団員数							備考	
			H26	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	R2		
団本部	5	団本部 (うちT-SELF)	22	22	31	33	36	40	27		
関	方面隊本部	6	/	/	/	/	/	/	/		
	本部分団	20	本部分団 (うち学生隊)	12	40	42	47	47	48	42	
			女性分団	/	28	30	35	35	36	30	
				/	/	/	/	/	/	22	
	安桜分団	37	安桜分団	40	40	27	31	28	29	28	
	旭ヶ丘分団	37	旭ヶ丘分団	38	42	35	31	30	32	30	
	瀬尻分団	51	瀬尻分団	51	51	51	51	51	52	54	災害支援団員 制度を平成30 年度から導入 (R2 19人)
	倉知分団	44	倉知分団	43	42	54	53	52	52	53	
	富岡分団	53	富岡分団	53	49	55	55	59	66	61	
	千疋分団	29	千疋分団	28	24	22	24	20	21	21	
	田原分団	65	田原分団	65	61	64	70	69	67	64	
	下有知分団	76	下有知分団	76	76	73	71	74	78	72	
	富野分団	57	富野分団	56	56	53	53	49	46	42	
	小金田分団	71	小金田分団	71	71	71	73	81	81	75	
	広見分団	20	広見分団	20	20	20	20	20	20	21	
関地域計	566	関地域計	553	572	567	579	580	592	585		
洞戸	方面隊本部	3	/	/	/	/	/	/	/	災害支援団員	
	洞戸第1	46	洞戸第1	45	43	41	33	38	2分団から 1分団に統 合	R1 27人→	
	洞戸第2	48	洞戸第2	50	48	46	38	36		R2 11人	
	洞戸地域計	97	洞戸地域計	95	91	87	71	74	68	51	(△16人)
板取	方面隊本部	31	/	/	/	/	/	/	/	災害支援団員	
	板取第1	14	板取分団	2分団から 1分団に統 合	/	/	/	/	/	R1 41人→	
	板取第2	31	板取分団	/	/	/	/	/	/	R2 30人	
	板取地域計	76	板取地域計	68	84	84	79	77	74	55	(△11人)
武芸川	方面隊本部	4	/	/	/	/	/	/	/		
	武芸川第1	78	武芸川第1	80	82	76	77	79	71	78	
	武芸川第2	75	武芸川第2	72	69	71	71	73	78	61	
	武芸川計	157	武芸川計	152	151	147	148	152	149	139	
武儀	方面隊本部	19	/	/	/	/	/	/	/	災害支援団員	
	武儀第1	35	武儀第1	35	49	52	51	56	55	36	R1 47人→
	武儀第2	31	武儀第2	31	26	34	36	35	33	19	R2 18人
	武儀第3	41	武儀第3	43	40	36	38	39	36	33	(△29人)
	武儀計	126	武儀計	109	115	122	125	130	124	88	
上之保	方面隊本部	41	/	/	/	/	/	/	/	災害支援団員	
	上之保第1	54	上之保分団	2分団から 1分団に統 合	/	/	/	/	/	R1 64人→	
	上之保第2	30	上之保分団	/	/	/	/	/	/	R2 49人	
	上之保計	125	上之保計	118	129	126	120	120	119	99	(△15人)
	総合計	1152	総合計	1117	1164	1164	1155	1169	1166	1044	
定数	1315	定数	1250	1250	1250	1250	1250	1250	1250		

※再編計画により平成26年度から方面隊制廃止

※平成27年度～ 学生隊（本部分団付）

※平成28年度～ T-SELF（団本部付）

※令和元年10月女性分団発足（T-SELF（14名）と板取分団女性団員（8名）が統合）

人口の推移

○関市全体

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4
計 画 推 計 値 の 推 作 成 時	総人口	92,480	91,924	91,318	90,677	89,992	89,269	88,510	87,715	86,903	86,058
	うち年少人口 (0～14歳)	12,851 13.9%	12,640 13.8%	12,431 13.6%	12,160 13.4%	11,911 13.2%	11,623 13.0%	11,343 12.8%	11,072 12.6%	10,845 12.5%	10,586 12.3%
	うち生産年齢人口 (15～64歳)	57,143 61.8%	55,860 60.8%	54,681 59.9%	53,767 59.3%	52,895 58.8%	52,066 58.3%	51,301 58.0%	50,560 57.6%	49,778 57.3%	49,015 57.0%
	うち高齢者人口 (65歳以上)	22,486 24.3%	23,424 25.5%	24,206 26.5%	24,750 27.3%	25,186 28.0%	25,580 28.7%	25,866 29.2%	26,083 29.7%	26,280 30.2%	26,457 30.7%

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2
実 績 値	総人口	92,319	91,583	91,057	90,502	89,679	89,036	88,506	87,691
	うち年少人口 (0～14歳)	12,843 13.9%	12,592 13.7%	12,413 13.6%	12,151 13.4%	11,818 13.2%	11,495 12.9%	11,153 12.6%	10,864 12.4%
	うち生産年齢人口 (15～64歳)	57,207 62.0%	55,820 61.0%	54,566 59.9%	53,609 59.2%	52,740 58.8%	52,009 58.4%	51,533 58.2%	50,712 57.8%
	うち高齢者人口 (65歳以上)	22,269 24.1%	23,171 25.3%	24,078 26.4%	24,742 27.3%	25,121 28.0%	25,532 28.7%	25,820 29.2%	26,115 29.8%

○関地域

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4
計画作成時の推計値	総人口	76,987	76,683	76,336	75,955	75,535	75,078	74,587	74,070	73,526	72,950
	うち年少人口 (0~14歳)	11,231	11,045	10,882	10,673	10,457	10,218	9,973	9,740	9,554	9,326
	うち生産年齢人口 (15~64歳)	48,346	47,409	46,521	45,859	45,284	44,704	44,192	43,699	43,122	42,606
	うち高齢者人口 (65歳以上)	17,410	18,229	18,933	19,423	19,794	20,156	20,422	20,631	20,850	21,018
		22.6%	23.8%	24.8%	25.6%	26.2%	26.8%	27.4%	27.9%	28.4%	28.8%

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2
実績値	総人口	76,779	76,357	76,157	75,861	75,358	75,074	74,865	74,348
	うち年少人口 (0~14歳)	11,221	11,032	10,893	10,678	10,414	10,155	9,878	9,636
	うち生産年齢人口 (15~64歳)	48,326	47,337	46,459	45,790	45,181	44,779	44,563	44,027
	うち高齢者人口 (65歳以上)	17,232	17,988	18,805	19,393	19,763	20,140	20,424	20,685
		22.4%	23.6%	24.7%	25.6%	26.2%	26.8%	27.3%	27.8%

○板取地域

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4	
計 画 作 成 時 の 推 計 値	総人口	1,374	1,341	1,309	1,284	1,261	1,202	1,169	1,141	1,117	
	うち年少人口 (0～14歳)	80 5.8%	79 5.9%	74 5.7%	70 5.5%	67 5.3%	65 5.3%	63 5.2%	60 5.1%	58 5.2%	
	うち生産年齢人口 (15～64歳)	712 51.8%	674 50.3%	640 48.9%	620 48.3%	586 46.5%	560 45.5%	529 44.0%	507 43.4%	479 42.0%	456 40.8%
	うち高齢者人口 (65歳以上)	582 42.4%	588 43.8%	595 45.5%	594 46.3%	608 48.2%	606 49.2%	610 50.7%	602 51.5%	604 52.9%	603 54.0%

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	
実 績 値	総人口	1,365	1,337	1,295	1,254	1,208	1,107	1,074	
	うち年少人口 (0～14歳)	74 5.4%	76 5.7%	78 6.0%	73 5.8%	64 5.3%	61 5.2%	53 4.8%	54 5.0%
	うち生産年齢人口 (15～64歳)	711 52.1%	669 50.0%	617 47.6%	587 46.8%	556 46.0%	512 44.0%	472 42.6%	440 41.0%
	うち高齢者人口 (65歳以上)	580 42.5%	592 44.3%	600 46.3%	594 47.4%	588 48.7%	590 50.7%	582 52.6%	580 54.0%

○武芸川地域

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4
計 画 作 成 時 の 推 計 値	総人口	6,486	6,465	6,432	6,400	6,369	6,317	6,288	6,252	6,221
	うち年少人口 (0~14歳)	869	874	866	852	856	839	835	829	820
	うち生産年齢人口 (15~64歳)	4,026	3,939	3,879	3,813	3,742	3,623	3,563	3,527	3,485
	うち高齢者人口 (65歳以上)	1,591	1,652	1,687	1,735	1,771	1,855	1,890	1,896	1,916
		24.5%	25.6%	26.2%	27.1%	27.8%	29.4%	30.1%	30.3%	30.8%

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2
実 績 値	総人口	6,457	6,377	6,272	6,226	6,108	5,919	5,814
	うち年少人口 (0~14歳)	856	845	823	807	768	706	683
	うち生産年齢人口 (15~64歳)	4,021	3,891	3,763	3,677	3,570	3,374	3,252
	うち高齢者人口 (65歳以上)	1,580	1,641	1,686	1,742	1,770	1,839	1,879
		24.5%	25.7%	26.9%	28.0%	29.0%	31.1%	32.3%

○武義地域

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4
計 画 作 成 時 の 推 計 値	総人口	3,645	3,573	3,504	3,422	3,351	3,271	3,192	3,116	3,045	2,973
	うち年少人口 (0～14歳)	320	316	303	296	287	272	261	251	242	231
	うち生産年齢人口 (15～64歳)	1,973	1,883	1,792	1,702	1,631	1,567	1,504	1,439	1,389	1,328
	うち高齢者人口 (65歳以上)	1,352	1,374	1,409	1,424	1,433	1,432	1,427	1,426	1,414	1,414
		37.1%	38.5%	40.2%	41.6%	42.8%	43.8%	44.7%	45.8%	46.4%	47.6%
	8.8%	8.8%	8.6%	8.6%	8.6%	8.3%	8.2%	8.1%	7.9%	7.8%	7.8%
	54.1%	52.7%	51.1%	49.7%	48.7%	47.9%	47.1%	46.2%	45.6%	44.7%	44.7%

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2
実 績 値	総人口	3,663	3,594	3,524	3,430	3,349	3,239	3,140	3,070
	うち年少人口 (0～14歳)	320	305	294	285	280	258	238	232
	うち生産年齢人口 (15～64歳)	2,002	1,910	1,819	1,705	1,652	1,569	1,493	1,428
	うち高齢者人口 (65歳以上)	1,341	1,379	1,411	1,440	1,417	1,412	1,409	1,410
		36.6%	38.4%	40.0%	42.0%	42.3%	43.6%	44.9%	45.9%
	8.7%	8.5%	8.3%	8.3%	8.4%	8.0%	7.6%	7.6%	
	54.7%	53.1%	51.6%	49.7%	49.3%	48.4%	47.5%	46.5%	

○上之保地域

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4
計 画 作 成 時 の 推 計 値	総人口	1,906	1,850	1,798	1,745	1,693	1,651	1,605	1,560	1,515	1,479
	うち年少人口 (0～14歳)	131	123	117	113	103	99	100	96	91	93
	うち生産年齢人口 (15～64歳)	982	930	890	853	814	787	744	718	694	648
	うち高齢者人口 (65歳以上)	793	797	791	779	776	765	761	746	730	738
		41.6%	43.1%	44.0%	44.6%	45.8%	46.3%	47.4%	47.8%	48.2%	49.9%

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2
実 績 値	総人口	1,932	1,845	1,761	1,759	1,672	1,621	1,562	1,528
	うち年少人口 (0～14歳)	139	115	107	101	95	92	92	90
	うち生産年齢人口 (15～64歳)	1,000	929	864	829	788	747	694	672
	うち高齢者人口 (65歳以上)	793	801	790	829	789	782	776	766
		41.0%	43.4%	44.9%	47.1%	47.2%	48.2%	49.7%	50.1%

再編前 NO	R2現在 NO	施設名		再編計画の方針	進捗状況	備考
1	1	本部分団	住吉車庫	現状維持		R2 改築設計 R3 改築工事
2	2	本部分団	山ノ手車庫	現状維持		
3	3	安桜分団	稲口車庫	現状維持		
4	4	安桜分団	いろは町車庫	現状維持		
5	5	安桜分団	本町車庫	現状維持		
6	6	旭ヶ丘分団	黒屋車庫	現状維持		
7		旭ヶ丘分団	塔ノ洞車庫	廃止（黒屋へ統合）	R1 譲渡	
8	7	旭ヶ丘分団	吉野町車庫	将来は移転更新		
9	8	旭ヶ丘分団	本郷車庫	現状維持		
10	9	旭ヶ丘分団	桜ヶ丘車庫	現状維持		
11	10	瀬尻分団	北部車庫	現状維持		
12	11	瀬尻分団	南部車庫	現状維持		
13	12	瀬尻分団	緑ヶ丘車庫	現状維持		
14	13	瀬尻分団	池尻中央車庫	現状維持		
15	14	広見分団	拠点車庫	現状維持		
16		広見分団	北山車庫	用途廃止	H29 取壊し	
	15	広見分団	新拠点車庫	新設	H26 新築	拠点の隣に建築
17	16	倉知分団	久郷車庫	現状維持		
18	17	倉知分団	下倉知車庫	現状維持		
19		倉知分団	熊之段車庫	廃止（下倉知に統合）	H30 譲渡	
20	18	倉知分団	藤谷車庫	現状維持		
21	19	倉知分団	桐谷車庫	現状維持		
22	20	倉知分団	山崎車庫	現状維持		
23	21	倉知分団	福栄車庫	現状維持		安桜分団から移管
24	22	倉知分団	巾車庫	現状維持		安桜分団から移管
25	23	富岡分団	鋳物師屋車庫	現状維持		
26	24	富岡分団	平賀車庫	現状維持		
27	25	富岡分団	上肥田瀬車庫	現状維持		
28	26	富岡分団	中村車庫	現状維持		
29	27	富岡分団	島車庫	現状維持		
30	28	小金田分団	小屋名車庫	現状維持		
31		小金田分団	山田車庫	建替により取壊し	H29 取壊し	
32	29	小金田分団	保戸島車庫	現状維持		
33	30	小金田分団	上白金車庫	現状維持		
34	31	小金田分団	下白金車庫	現状維持		
35	32	小金田分団	拠点車庫	現状維持		
	33	小金田分団	新山田車庫	建替えによる新設	H28 新築	
36	34	千足分団	拠点車庫	現状維持		
37	35	千足分団	本郷車庫	耐震補強	H30 譲渡	
	36	千足分団	新拠点車庫		H27 新築	
38	37	田原分団	西田原車庫	現状維持		
39	38	田原分団	大杉車庫	現状維持		H25 詰所増築
40	39	田原分団	東田原車庫	現状維持		H27 詰所増築
41	40	田原分団	下迫間車庫	現状維持		
42	41	田原分団	小迫間車庫	現状維持		
43	42	田原分団	上迫間車庫	現状維持		

再編前 NO	R2現在 NO	施設名		再編計画の方針	進捗状況	備考
44		田原分団	野田車庫	廃止（西田原へ統合）	R2 譲渡	
45	43	下有知分団	長保寺車庫	現状維持		
46	44	下有知分団	山王車庫	現状維持		
47	45	下有知分団	今宮車庫	現状維持		
48	46	下有知分団	東志摩車庫	現状維持		管財課借用 (公民センター内)
49	47	下有知分団	中組車庫	現状維持		
50	48	富野分団	西神野車庫	現状維持		
51		富野分団	小坂車庫	廃止（志津野へ統合）	R1 譲渡	
52	49	富野分団	志津野車庫	現状維持		
53	50	富野分団	日立車庫	現状維持		
54		富野分団	今藤車庫	廃止（日立へ統合）	R1 取壊し	
55		富野分団	小野車庫	廃止（八神と併合し別位置に新設）	R1 取壊し	
56		富野分団	八神車庫	廃止（小野と併合し別位置に新設）	R1 取壊し	H30取壊予定
57	51	富野分団	本郷車庫	現状維持		
	52	富野分団	小野・八神車庫	新設	H28 新築	
58		洞戸第1分団	上菅谷車庫	廃止（下菅谷と併合し別位置に新設）	H29 取壊し	
59		洞戸第1分団	下菅谷車庫	廃止（上菅谷と併合し別位置に新設）	H30 取壊し	
	53	洞戸第1分団	新菅谷車庫	新設	H26 新築	
60	54	洞戸第1分団	市場車庫	現状維持		ポンプ車・積載車収納
61		洞戸第2分団	尾倉車庫	移転廃止	H30 取壊し	
	55	洞戸第2分団	新尾倉車庫	新設	H29 新築	
62		洞戸第2分団	飛瀬車庫	廃止（栗原と併合し別位置に新設）	H29 取壊し	
63		洞戸第2分団	栗原車庫	廃止（飛瀬と併合し別位置に新設）	H30 譲渡	
	56	洞戸第2分団	新飛瀬車庫	新設	H29 新築	
64		洞戸第2分団	大野車庫	廃止（黒谷と併合しに新設）	R1 取壊し	
65		洞戸第2分団	黒谷車庫	廃止（黒谷と併合しに新設）	R2 返却	スポ推 借用 (運動公園管理棟)
66	57	洞戸第2分団	高賀車庫	現状維持		
67	58	板取分団	白谷車庫	現状維持		
68	59	板取分団	門出車庫	現状維持		
69	60	板取分団	松谷車庫	廃止（門出車庫へ統合）	R3 取壊し予定	
70	61	板取分団	加部車庫	廃止（門出車庫へ統合）		地権者意向確認中
71		板取分団	中切車庫	移転建替え	H28 取壊し	

再行前 NO	R2現在 NO	施設名		再編計画の方針	進捗状況	備考
72		板取分団	保木口車庫	廃止（中切車庫へ統合）	H29 譲渡	
73		板取分団	杉原車庫	廃止（中切車庫へ統合）	R1 譲渡	
74		板取分団	田口車庫	廃止（中切車庫へ統合）	H28 取壊し	
	62	板取分団	新中切車庫	統合新設	H27 新築	
75	63	板取分団	上方瀬車庫	現状維持		
76	64	板取分団	島口車庫	更新（建替）	H27 新築	
77		板取分団	門原車庫	廃止（島口車庫へ統合）	H29 取壊し	
78	65	板取分団	岩本車庫	現状維持		
79	66	武芸川第1分団	寺尾車庫	現状維持		
80	67	武芸川第1分団	谷口車庫	現状維持		
81	68	武芸川第1分団	宇多院車庫	現状維持		
82	69	武芸川第1分団	一色・森本車庫	現状維持		
83	70	武芸川第1分団	平車庫	現状維持		
84	71	武芸川第2分団	小知野車庫	現状維持		
85	72	武芸川第2分団	八幡車庫	現状維持		
86	73	武芸川第2分団	高野車庫	現状維持		
87	74	武芸川第2分団	跡部車庫	現状維持		
88	75	武儀第1分団	武儀倉車庫	現状維持		
89		武儀第1分団	雁管礼車庫	廃止	H28 譲渡	
90	76	武儀第1分団	栗野車庫	現状維持		H25 建替
91	77	武儀第1分団	大洞町車庫	現状維持		
92		武儀第1分団	水成車庫	廃止	H28 譲渡	
93		武儀第1分団	祖父川車庫	廃止	H28 譲渡	
94	78	武儀第1分団	岩山崎車庫	現状維持		
95	79	武儀第2分団	温井車庫	現状維持		
96	80	武儀第2分団	間吹車庫	現状維持		
97	81	武儀第2分団	若菜車庫	現状維持		
98	82	武儀第3分団	戸丁車庫	移転新築	団員数の減少による計画見直し	
99		武儀第3分団	大門車庫	廃止	H28 譲渡	
100	83	武儀第3分団	殿村車庫	現状維持		
101		武儀第3分団	西洞車庫	廃止	H28 譲渡	
102	84	武儀第3分団	上野車庫	現状維持		
103		武儀第3分団	轡野車庫	廃止	H28 譲渡	
104	85	上之保分団	鳥屋市車庫	現状維持		
105	86	上之保分団	行合車庫	現状維持		
106		上之保分団	川合車庫	廃止（新川合車庫へ統合）	H28 売却	
107		上之保分団	自動車車庫	廃止（新川合車庫へ統合）	R1 取壊し	
108		上之保分団	明ヶ島車庫	廃止（新川合車庫へ統合）	H30 取壊し	
	87	上之保分団	新川合車庫	新設	H27 新築	
109		上之保分団	船山車庫	廃止（新宮脇車庫へ統合）	R1 取壊し	
110		上之保分団	宮脇車庫	廃止（新宮脇車庫へ統合）	H29 取壊し	

再編前 NO	R2現在 NO	施設名		再編計画の方針	進捗状況	備考
	88	上之保分団	新宮脇車庫	新設	H26 新築	
111	89	団本部	関消防署	現状維持		

車両数について

分団名 (旧郡部は 方面隊名)	計画前			計画案		
	車両数	団員数	団員数/車両数	車両数	団員数	団員数/車両数
本部	2	29	14.5	2	29	14.5
安桜	3	33	11	3	33	11
旭ヶ丘	5	49	9.8	4	49	12.3
瀬尻	4	51	12.8	4	51	12.8
広見	2	20	10	2	20	10
倉知	8	52	6.5	7	52	7.4
富岡	5	54	10.8	5	54	10.8
小金田	6	70	11.7	6	70	11.7
千足	2	27	13.5	2	27	13.5
田原	7	58	8.3	6	58	9.7
下有知	5	77	15.4	5	77	15.4
富野	8	58	7.3	5	58	11.6
洞戸	11	101	9.2	7	101	14.4
板取	12	81	6.8	7	81	11.6
武芸川	9	155	17.2	9	155	17.2
武儀	16	133	8.3	10	133	13.3
上之保	7	126	18	5	126	25.2
計	112	1174		89	1174	



R2現在	備考	
	車両数	団員数
3	12	R2団員数は学生隊を除く 4 R2洞戸黒谷から積載車を1台移 管
3	28	9.3 中、福栄は倉知へ
4	30	7.5
4	54	13.5
2	21	10.5
7	53	7.6 安桜から中、福栄の車両 を移管
5	61	12.2
6	75	12.5
2	21	10.5
6	64	10.7
5	72	14.4
5	42	8.4
6	51	8.5
7	55	7.9
9	139	15.4
10	88	8.8
5	99	19.8
89	965	



○再編計画策定時基準車両数は1台当たり1.3人で算定している

○団員数には災害支援団員を含む

○多機能車(市役所車庫)は含まない

1044 (全体) -27 (団本部) -30 (学生隊) -22 (女性分団)

出動体制の基準について

1 再編計画策定時における出動体制の基準

13人×29.5%（被雇用者でない団員数/団員数）≒4人

（ポンプ車を稼働させるために要する団員数は4人であるため、1.台の車両（車庫）につき13人の団員が配属されれば、屋間の火災に対応可能である想定）

2 再編計画策定時と同様に令和2年度の団員状況にて算定

団員数965人に対し、被雇用者でない団員数は144名であるため、以下のとおり算定される

26人×14.9%（被雇用者でない団員数/団員数）≒4

上記のように消防団員の被雇用者率が高くなっており、車両に対する必要な団員数は理論上倍増しているため、厳しい状況であるといえます。

課題・検討事項について

1 組織のあり方

再編計画における方針	実施主体	方針に対する実績・進捗
① 消防団のあり方 ・方面隊制度の廃止	団・行政・地域	達成 (H25.10)
② 定員・任期 ・定員数の見直し (1315名→1250名)	団・行政	達成 (H25.10)
・定年制の導入	団・行政・地域	未達成 (団員確保が困難な状況で定年制を設けることが困難)
・幽霊団員の排除	団	退職報償金・報酬について除算措置を設けている
・団員の割当数・車両数の適正化	団・行政	達成
③ 報酬・待遇 ・消防団加入に対する特典・報酬アップ等加入促進施策の検討	団・行政	サポートプロジェクトのカードにQRコードを設け、利便性の向上を図った
・報酬・福利厚生の見直し (出勤手当の増額)	団・行政	達成 (H26.4 1000円→1500円【全出勤】 R2.4 1500円→2000円【火災出勤】)
④ 車両・詰所等 ・車両更新時の軽自動車の導入	団・行政	達成
・ポンプ車の更新	団・行政	達成 (取得後20年経過車両を更新)
・車両数、車両配置の適正化の推進	団・行政	数値的には達成したものの課題あり
・分団毎の車庫・詰所等の状況把握 (車庫・車両台帳による管理)	団・行政	達成 (台帳整備済)
・活動しやすい詰所の形態等の検討	団・行政	統合・建替時に分団と検討して整備している
・ニーズを踏まえた車庫の改修	団・行政	統合・建替時に分団と検討して整備している
・備品などの活用状況の把握・配置の適正化 (特別点検による備品配置の見直し)	団・行政	適正配置に努めている
・車両の耐用年数診断の実施	団・行政	車検や分団からの報告により適宜対応している
⑤ 行事等の活動 ・操法のあるべき姿について協議 (練習時間の制限 (2時間)) (操法大会の種目を2種目から1種目に変更)	団	達成 (H25～ 1種目)
・操法大会・操法の意見交換の場づくり・意識の統一	団	分団長会議で意見交換をしている
・運転講習制度の目的の明確化、必要性の検討	団	4日→1日、80人→20人 必要性に応じた受講人数とし、注意すべき事象を分団長会議で情報共有している。
・防災パレードの内容・実施日時の見直し	団	達成 (防災パレードを廃止)
・辞令交付の簡略化	団	表彰の代表受領など時間短縮に努めている
・夜警の激励等の見直し (夜警巡回期間を5日間から3日間へ変更)	団	激励者の削減による負担減 連絡強化による待機時間の縮減

2 団員確保の方策

再編計画における方針	実施主体	方針に対する実績・進捗
① 勧誘方法		
・分団での勧誘活動に対する地域・行政の支援 (分団および自治会と協力し、団員募集の地元説明会を実施)	団・行政・地域	自治会が勧誘する際に説明できるよう行政が資料作成し提供している
・行政による消防団員の募集 (新聞折込チラシによる募集を実施)	団・行政・地域	広報等により募集
・任期の統一的な基準の作成	団	中日新聞に記事掲載「われら消防団」 未達成(地域により事情が異なる)
・消防団員勧誘組織の創設	団	未達成
・自治会と消防団との問題意識の共有機会の創出	団・行政・地域	未達成
・関市自治会連合会を通じた協力依頼の実施 (自治連合会での団員確保の呼び掛けを実施)	団・行政・地域	未達成
・自治会・自主防災との連携	団・行政・地域	未達成(地域により事情が異なる)
・消防団の不参加地域に対する消防団活動への理解促進	団・行政・地域	未達成
② 団員要件		
・条例の改正による市外在職在住者の入団への支援	団・行政	達成(H27.4)
③ 人材活用		
・災害支援団員枠の増員	団	達成(市内全域を対象)
・機能別消防団の充実	団	達成(学生隊、T-SELF、消防音楽隊の編入)
④ 若年者の理解と消防団のPR		
・消防団にこれから入る若い人の意識の把握	団	分団長会議で意見交換をしている
・地域の人に消防団活動をPRする機会の創出	団・行政・地域	達成(防災フェア、刃物まつりにてPR活動を実施)
・子どもに対する消防団活動のPRの実施	団・行政・地域	達成(操法大会時にふれあいコーナーによるPR、PRグッズの作成・配布)
・企業に対する消防団に対する理解・協力の促進	団・行政	達成(消防団協力事業所の認証推進(H21 13事業所→R2 50事業所)、商工会に依頼し会員に対してチラシ配布)
・消防団に対するイメージの向上施策の実施	団・行政	各イベントでのPR活動 詰所内での禁煙・禁酒を実施

3 その他

再編計画における方針	実施主体	方針に対する実績・進捗
① 団員育成・技術向上		
・新入団員に対する消火活動の研修の実施	団	各分団や合同での訓練を実施
・競技色の強い操法から実践的な技術向上の練習への転換	団	今後検討
・全体のスキルの向上を目的としたプログラムの開発	団	習得課程(チェーンソー・エンジンカッター・油圧ジャッキの取り扱い研修)を平成28年度から実施
② 企業への理解促進		
・勤務会社に対する招集依頼の実施	団・行政	達成(依頼文書を用意)
③ ムダの削減		
・必要な物品の購入等の無駄の削減	団・行政	適正利用に努めている
・市のコストダウンの取組み・考え方の説明	団・行政	分団運営経費について適正利用するよう説明している

関市消防団員 準中型自動車免許取得費補助金制度（案）の概要

関市消防団所有の車両のうち、ポンプ車及び一部の積載車が準中型自動車免許区分（3.5 t 以上 5.0 t 未満）となっているため、平成 29 年 3 月 12 日以降に普通自動車免許（3.5 t 未満限定）を取得した団員は運転することができない。今後、現行の消防車が運転できない団員が増加した場合、各種活動に支障をきたすことが見込まれるため、関市として関市消防団員の準中型免許取得を支援するもの。

○補助事業及び補助対象

- (1) 平成 29 年 3 月 12 日以降に初めて普通自動車運転免許を取得した団員
- (2) 所属する分団の分団長が推薦する団員
- (3) 準中型免許の取得の日から 5 年以上団員として在団することを誓約する団員

○補助対象経費

入学金・講習料金・学科教本代・検定料・卒業証明書交付手数料・その他市長が認める経費

※ただし、補講・再試験等の追加経費を除く

○補助金の額

補助対象経費の合計額の 2 分の 1（団員 1 人当たり 10 万円を限度）

※千円未満の端数が生じたときは切り捨て。

○補助金交付決定の取消し及び補助金の返還

- (1) 準中型免許の取得の日から 5 年以内に退団したとき
- (2) 虚偽・不正の行為があったとき。
- (3) 市長が返還の必要があると認めるとき。

※(1)に該当するときは、補助額を 5 で割った額に準中型免許取得の日からの在団年数を乗じて得た額を差し引いた額を返還してもらう。

例) 補助金 7 万円の交付を受けた者が 3 年で退団した場合

$$70,000 \text{ 円} \div 5 = 14,000 \text{ 円}$$

$$14,000 \text{ 円} \times 3 = 42,000 \text{ 円}$$

$$70,000 \text{ 円} - 42,000 \text{ 円} = 28,000 \text{ 円 (返還額)}$$

関市消防団車庫 戸別受信機アナログ回線調べ

分団	車庫・班	受信機	アナログ該当
安桜	本町	有り	アナログ
	稲口	有り	アナログ
旭ヶ丘	いろは町	なし	—
	黒屋	有り	アナログ
	吉野町	有り	アナログ
	本郷	有り	アナログ
	桜ヶ丘	有り	アナログ
瀬尻	北部	有り	アナログ
	南部	有り	アナログ
	緑ヶ丘	有り	アナログ
	池尻中央	有り	アナログ
	久郷	有り	アナログ
倉知	下倉知	有り	アナログ
	藤谷	有り	アナログ
	桐谷	有り	アナログ
	山崎	有り	アナログ
	福栄	有り	アナログ
富岡	巾	有り	アナログ
	鋳物師屋	有り	アナログ
	平賀	有り	アナログ
	上肥田瀬	有り	アナログ
	中村	有り	アナログ
小金田	島	有り	アナログ
	小屋名	有り	アナログ
	山田	なし	—
	保戸島	なし	—
	上白金	有り	アナログ
下白金	有り	アナログ	
拠点	有り	アナログ	

分団	車庫・班	受信機	アナログ該当
千足	拠点	有り	アナログ
	西田原	有り	アナログ
田原	大杉	なし	—
	東田原	なし	—
	下迫間	有り	アナログ
	小迫間	有り	アナログ
	上迫間	有り	アナログ
下有知	長保寺	有り	アナログ
	山王	有り	アナログ
	今宮	有り	アナログ
	東志摩	有り	デジタル
	中組	有り	アナログ
富野	西神野	有り	アナログ
	志津野	有り	アナログ
	日立	有り	アナログ
	小野・八神	なし	—
	本郷	有り	アナログ
広見	拠点	有り	アナログ

※武芸川地区は調査中（アナログだと思われる）
 ※板取・武蔵・上之保地区はデジタル化
 ※洞戸地区は受信機の設置なし
 ※アナログは令和4年11月末まで
 ※今後どうするかは検討中